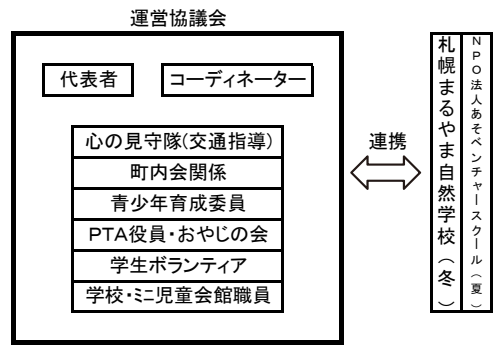


長期休業中や土日に、地域の教育力を活用し、子供に学習や体験の場を提供

北海道札幌市	● 活動名	● 関係する学校名
	サタデースクール「時習館」	札幌市立手稲東小学校

開始年度	平成 25 年度	学級数	22 学級	児童・生徒数	612 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 芸術活動 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習・伝統文化 <input checked="" type="checkbox"/> その他（補修的学習）				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 2 人	連携団体・企業等	NPO法人あそベンチャー・スクール
ボランティアの数	登録人数 15 人	属性	PTA役員、地域住民、大学生、元教員、卒業生等		
参考 URL	http://www.teinehigashi-e.sapporo-c.ed.jp/				

● 体制図



● 連絡先 札幌市教育委員会生涯学習推進課 ☎ 011-211-3872

● 活動の概要・経緯
 本校では、明治5年の創立時の学校名から取った「時習館」という名称で、4年前から夏・冬休み期間中や、土日に、地域の方の協力を得るなどして、学習や様々な体験活動の場を提供してきた。また地域の青少年育成委員会や子ども会が学校との連携の中で「スポーツ大会」を行ってきた。2年前からは、それらの活動を札幌市の「サタデースクール事業」として整理し、実施している。長期休業中の学びの場、体力作りの場を提供するとともに、地域の自然を体験したり、伝統文化に触れる機会を提供することを目的に計画を進めている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

夏休みと冬休みに各3日ずつ、交通指導で日常的に子供たちに関わってくれている地域の方や、学生ボランティアを「先生」に「学びの時習館」を行っている。

夏には校区の琴似発寒川で自然体験する「川遊び時習館」、冬には雪に覆われる札幌の冬を楽しく過ごす「冬遊び時習館」を、それぞれ専門の方を講師に実施している。

秋には体を動かす活動として「時習館ミニバレーボール大会」と日本の伝統文化を体験する「茶道教室、囲碁将棋教室」を行っている。

【実施にあたっての工夫】

開校145年目を迎える本校には、父母や祖父母も卒業生である児童が多い。地域の方も自分たちの学校として愛着が強い。多くの方が児童の健全な成長に積極的に関わろうとしてくださっている。

また、この地域は冬は何か月も雪に覆われたり、校区にたくさんの生き物が生息している琴似発寒川が流れていたり、豊かな自然環境に恵まれている。

このような学校を取り巻く環境を「地域の教育力」として活用するとともに、児童が自分の生まれ育ったこの地域への愛着を育てる機会にしたいと考えている。

○学校評議員との連携…学校関係者評価委員会にて、地域住民である学校評議員からの意見も運営に反映している。

● 事業を実施しての効果・成果

子供たちに、サタデースクール事業「時習館」の活動を通して、学ぶこと、体を動かすこと、自然（川や雪）に親しむこと、伝統文化にふれることの楽しさを体験的に理解させることができた。

子供たちの健全な成長を願う地域（地域住民、保護者、学生ボランティア等）の教育力を活かすことができた。また、子供たちが様々な活動の中でいろいろな人とふれ合い、地域に愛着をもつ機会にもなっている。

● その他

企業・NPO等との連携した活動：NPO法人あそベンチャー・スクール（近隣の川で生き物に触れる自然体験）、NPO法人札幌まるやま自然学校（雪を使った遊び・体験活動）



地域の方を「先生」として学習に取り組む「学びの時習館」



専門家を「先生」に、地域の自然を体験する「川遊び時習館」